



すずらん苑 だより

平成25年10月1日
第287号

《発行所》
軽費老人ホーム すすらん苑
〒866-0073
八代市本野町
2076番地
TEL 0965-33-3813



敬老を祝して

照りつける暑さのなかにも、萩の花が風に揺れる頃となりだした九月四日（水）、利用者の皆様の健康と長寿を祝い「敬老会」が行われました。

午前十時、厳肅な雰囲気の中、式典が始まり、胸章を付けた敬老者の方々の紹介後、福田理事長より祝辞をいただきました。

そして、祝電披露、記念品贈呈があり、利用者を代表して森下延年さんが「一生懸命生きぬく事が、私たちに課せ

られた使命である」と、力強い決意の謝辞を述べられました。

続いて「いきいきバンド」の皆様による、演奏と舞踊の演奏会です。演奏はギター・オカリナ・三味線で童謡メドレーから、懐かしい歌謡曲を披露して頂きました。演奏にあわせて皆さん、手拍子をおされ、懐かしそつに口ずさんでおられました。

また、「波乱万丈」の舞踊では厳格な踊りに、皆さん魅了されておられ、最後は「ふるさと」を全員で合奏・合唱し、和やかな雰囲気の中、敬老会式典を閉幕しました。

午後からは、会場を食堂に移し誕生会をかねた敬老会第二部のスタートです。丹精こめたお弁当



敬老会 お祝い弁当

を堪能した後、職員による余興の開始となりました。
まず最初に、厨房職員による踊り「ジングスカン」です。軽やかなテンポの曲に、不思議な振り付けで、皆さん大興奮の様子でした。また、苑の歌姫、厨房職員・遠山さんによる歌「ソーラン祭り」の迫力ある歌声に大きな拍手がわき起こりました。
次に、いつになく真剣な表情の看護・介護・事務職員の踊り「星空の秋子」でフィナーレとなり、最後はお楽しみ抽選会で大いに



利用者代表 森下延年さん
による謝辞

9月誕生者



☆森下延年さん



☆宮崎泰喜さん



☆坂本幸人さん



☆下山一男さん

盛り上がり、敬老会・誕生会を終了しました。
みなさん、いつまでもお元気で過ごして下さい。



ありがとうございました
いっしょに
☆ 敬老会関係
記念品 八代市 様
記念品 高田校区 様
音楽会 婦人会 様
鏡町いきいき
バンド 様

敬老会&誕生会余興 9月4日



バスハイク 9月18日
山都町（清和文楽邑）

一日レストラン 9月25日



98歳！
まだ食べ足らんな～

メニューにかじりついて...

人形浄瑠璃観賞に興奮

去る九月十八日、秋の気配を色濃く感じる、山都町（清和文楽邑）へバスハイクに出かけました。参加希望者多数につき、十月二日（予定）との二組に分かれての開催となりました。今回のバスハイクのメインとなる人形浄瑠璃について少しお話しします。

まず、人形浄瑠璃とは、浄瑠璃の語りにあわせて演じる人形劇全般の事で、現在では「文楽」と称されています。文楽の舞台は『三業』といわれる「太夫（語り）」「三味線（伴奏）」「人形遣い」の三つで構成されております。

太夫は、舞台の上手で浄瑠璃を語ります。情景描写に始まり、様々な登場人物の喜怒哀楽を表現し、一人で物語を語ります。文楽における、三味線は、単なる太夫の伴奏ではなく、繊細な音から豪快な音まで、幅広い音を出し物語を描きます。人形遣いは、三人で一体の人形を操ります。首と右手を操る「主遣い」、左手を操る「左遣い」、足を操る「足遣い」で、人形遣いによって生かされた人形は、時に人間以上に豊かな表現を見せます。

「文楽」は、日本を代表する伝統芸能で、太夫・三味線・人形が一体となった総合芸術です。

清和文楽邑で堪能する、伝統芸能と秋の味覚に大満足のバスハイクとなりました。



十月の行事予定

- ◇バスハイク 二日
- ◇お楽しみ会 四日
- ◇民謡クラブ 七日
- ◇一日喫茶店 七日
- ◇シヨッピング（ナフコ） 九日
- ◇カラオケクラブ 十日
- ◇苑ふれあい祭り 十六日
- ◇身長・体重測定 二十二日
- ◇書道クラブ 二十二日
- ◇秋の健康診断 二十三日
- ◇書道クラブ（自主） 二十四日
- ◇カラオケクラブ 二十四日
- ◇民謡クラブ 二十八日
- ◇誕生会 三十日



《すずらん号の運行について》
◇通院や買い物など、八代市内に用事のある方々のために、市内巡回バスを1日3回運行しております。
〈運行時間〉 9:15 【嘱託医】
9:30 【市内】
13:30 【市内】
(土曜、日曜、祝日は運休いたします。)

◇当苑の見学を希望される方々へお電話下さいますと、送迎いたします。お気軽にお問い合わせください。
Tel 0965-33-3813